

子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査

～ 御協力のお願い ～

県政の推進につきましては、平素から格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年我が国では、少子化の進行や核家族化などにより、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。

山口県では、安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に向けて、「やまぐちこどもきららプラン21」の改定及び子ども・子育て支援法に基づく県子ども・子育て支援事業支援計画の策定を平成26年度に行うこととしています。

今回の調査では、結婚や子どもを育てることなどについてのお考えをお聞きし、今後の施策を進めていくための基礎資料を得ることを目的としています。

この調査は、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、無作為に抽出し、選ばせていただきました男女各1, 500名の方をお願いするものです。

御回答いただいた内容は、全てコンピューターにより一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられ、個人の内容がそのまま発表されることはありません。お名前を書いていただく必要もありません。

お忙しい中、大変恐れ入りますが、調査の目的を御理解いただき、アンケートに御協力くださいますようお願いいたします。

平成25年 月

山口県健康福祉部こども未来課



子育て文化創造シンボルマーク

《御記入に際してのお願い》

- ① 調査の対象となる方は、調査票を郵送させていただいた宛名氏名の方です。
必ず、御本人様がお答えくださいますようお願いいたします。
- ② お答えは設問ごとに（○は1つ）、（○は3つまで）などそれぞれ指定されていますので、御注意ください。○印は番号を囲むようにお付けください。
- ③ 「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲むとともに、（ ）の中に具体的に御記入ください。
- ④ 御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、平成25年11月 日()までに御投函ください。
- ⑤ このアンケートについて、御不明な点や御質問がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 山口県健康福祉部こども未来課 少子化対策推進班
〒753-8501 山口市滝町1番1号
TEL：083-933-2754

I あなた御自身のことについて、お尋ねします。

F 1 あなたの性別は
(○は1つだけ)

1 男 2 女

F 2 あなたの現在の年齢は
(平成25年11月1日現在)

満 歳

F 3 あなたのお住まい
(市町名を記入)

市・町

F 4 あなたは結婚(事実婚を含む)していますか。(○は1つだけ)

1 結婚している(配偶者がいる) 3 結婚していない
2 結婚したが死別・離別した 4 その他()

F 5 あなたの職業は何ですか。また、現在配偶者がいらっしゃる場合は、配偶者のご職業もお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	あなた	配偶者
自営業		
農・林・漁業	1	1
商・工・サービス業(小売店、飲食店、理髪店、修理店など)	2	2
自由業(開業医、弁護士、宗教家、芸術家、茶華道師匠など)	3	3
勤め人		
民間企業(従業員301人以上)	4	4
民間企業(従業員300人以下)	5	5
公務員・教員(公務員に準ずる団体職員などを含む)	6	6
その他()	7	7
パート・アルバイト従事者	8	8
内職	9	9
無職		
学生	10	10
無職・その他()	11	11

F 6 今あなたは自分(又は配偶者)の親と同居していますか。(○は1つだけ)

1 同居している(二世帯住宅を含む) 3 別居でどちらの親も遠くにいる
2 別居だが親が近く(車で15分程度以内)にいる 4 親はいない(死亡等)

F 7 あなたの生まれ育った環境についてお尋ねします。(aからdのそれぞれについて○は1つずつ)

a 自分を含めた兄弟姉妹の数 →1 1人 2 2人 3 3人 4 4人 5 5人以上
b 小学校の頃の家族構成 →1 核家族(親子のみ) 2 三世帯同居家族 3 その他
c 小学校の頃の母親の就業等 →1 無職 2 継続して就業(自営業) 3 継続して就業(勤め人) 4 無職から(再)就業(勤め人) 5 わからない 6 その他
d 父親の家事・育児参加 →1 進んで参加 2 手伝う程度 3 ほとんど何もしない 4 わからない 5 その他

II 全ての方にお尋ねします。

問1 あなたが子どもの時(高校生以下)、乳幼児(小学生未満の子ども)とのふれあいの経験はありましたか。(○はいくつでも)

1 よく弟、妹の面倒をみていた	5 赤ちゃんをだっこしたことがある
2 近所の幼い子どもの面倒を見ていた、遊んでいた	6 ボランティアで乳幼児に接したことがある
3 生まれたばかりの赤ちゃんを間近に見たことがある	7 ほとんどない
4 赤ちゃんのオムツを替えたり寝かしつけたことがある	8 その他 (具体的に)

問2 あなたは子どもを持ち、育てることはどのような意味を持っていると思いますか。(○は2つまで)

1 自分の生命を伝える	8 子どもを育てるのは楽しい
2 自分の意志を継いでくれる後継者をつくる	9 子どもは働き手として必要である
3 家の存続のため	10 子どもを通して地域との関係が深まる
4 次の社会を担う世代をつくる	11 特に意味は感じない
5 家族の結びつきを強める	12 その他 (具体的に)
6 老後の面倒を見てもらう	
7 子どもを持ち、育てることによって、自分も成長する	

問3 あなたは子育ての負担感について、どのように思われますか。以下のa～iについてお答えください。(それぞれについて○は1つずつ) 子どもがいらっしやらない方も今の気持ち(イメージ)でお答えください。

	よくそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
a 子どもの世話で肉体的に疲れる	1	2	3	4
b 子どもにかかりきりで時間的な余裕がない	1	2	3	4
c 気の休まる時がない	1	2	3	4
d 趣味やレジャーを気軽に楽しめない	1	2	3	4
e 親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい	1	2	3	4
f 配偶者が子育ての大変さに無理解	1	2	3	4
g 子育てについて相談する相手がいない	1	2	3	4
h 親や親戚の口出しが多い	1	2	3	4
i 子どもにかかる金銭的な負担が大きい	1	2	3	4

問4 結婚、男女関係、生き方、子どもに関してどのようにお考えですか。以下のa～pについてお答えください。(それぞれについて○は1つつつ)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
a 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
b 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4
c 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってもかまわない	1	2	3	4
d 結婚と恋愛は別である	1	2	3	4
e 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
f 結婚したら、できるだけ親と別々に暮らし、お互いに干渉しない方がよい	1	2	3	4
g 夫も家事や育児を分担すべきである	1	2	3	4
h 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
i 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
j 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
k 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
l 子どもができたら、夫婦のことよりも、まず子どもを第一に考えるべきだ	1	2	3	4
m 女性はもっと積極的に社会進出すべきだ	1	2	3	4
n いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきでない	1	2	3	4
o ボランティアや地域活動などに積極的に参加すべきだ	1	2	3	4
p 妻が働くなら、家事・育児に支障がない範囲にすべきだ	1	2	3	4

Ⅲ 結婚している方(配偶者のいる方)にお尋ねします。(問5にお進みください。)

- 離婚・死別、及び未婚で現在配偶者のいない方のうち、子どもがいらっしゃる方は、P7の問11へお進みください。
- 離婚・死別された方で、子どもがいらっしゃらない方はP11の問23へお進みください。
- 結婚していない方は、P10の問20へお進みください。

問5 あなた方夫婦は、どのようなきっかけでお知り合いになりましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1 学校で | 6 見合いで(上司などの紹介も含む) |
| 2 職場や仕事の関係で | 7 市町や民間企業主催の見合いパーティーで |
| 3 幼なじみ、隣人関係 | 8 結婚相談所で |
| 4 学校以外のサークル活動やクラブ活動、
習い事で | 9 街なかや旅先で |
| 5 友人や兄弟姉妹を通じて | 10 その他
(具体的に) |

問6 あなたは何歳で結婚しましたか。(再婚していらっしゃる場合は、初婚時の年齢)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1 19歳以下 | 5 26～27歳 | 9 34～35歳 |
| 2 20～21歳 | 6 28～29歳 | 10 36～37歳 |
| 3 22～23歳 | 7 30～31歳 | 11 38～39歳 |
| 4 24～25歳 | 8 32～33歳 | 12 40歳以上 |

問7 あなたは現在何人の子どもがいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

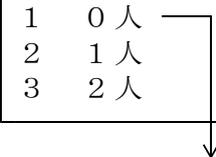
- | | |
|------|--------|
| 1 0人 | 4 3人 |
| 2 1人 | 5 4人 |
| 3 2人 | 6 5人以上 |

問8 あなた方夫婦は、これから何人の子どもをもうけるおつもりですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------|
| 1 (もう)もうけるつもりはない | 4 (あと)3人 |
| 2 (あと)1人 | 5 (あと)4人 |
| 3 (あと)2人 | 6 特に決めていない |

問 9 あなた方夫婦にとって、理想とする子どもの数は全部で何人ですか。(○は1つだけ)

1	0人	4	3人
2	1人	5	4人
3	2人	6	5人以上



問 9 で「0人」とお答えの方にお尋ねします。

問 9-1 その理由は何ですか。(○は2つまで)

1	育児の精神的、肉体的負担が大きいから	7	自分(配偶者)の仕事に差しつかえるから
2	子育てのための経済的負担が大きいから	8	安全な遊び場が少ないなど、子どもにとって望ましい居住環境にないから
3	家が狭いから	9	我が国社会の将来を考えると次世代の子どもにとって明るい将来とは言えないから
4	自分達の生活を楽しまたいと考えているから	10	その他
5	子どもがあまり好きでないから		(具体的に)
6	安心して子どもを生み、育てることができる雇用環境が十分でないから		

問 9 で、回答した子どもの数より、実際に持たれた(持つつもり)子どもの数が少ない方にお尋ねします。

問 10 あなた方夫婦が、理想とする数の子どもを持たれないのは、どのような理由からですか。(○は2つまで)

1	高齢での出産がいやだから・できないから	7	自分(配偶者)の仕事に差しつかえるから
2	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	8	自分達のライフスタイルと育児は両立しないから
3	一般的に子どもを育てるため、お金がかかるから	9	定年退職までに子どもが成人することが望ましいから
4	子どもの教育にお金がかかるから	10	不妊や健康上の理由から
5	家が狭いから	11	その他
6	世間並みの子どもの数に合わせたいから		(具体的に)

IV 子どもがいらっしゃる方にお尋ねします。

→ 子どもがいらっしゃらない方は、P 11の間23へお進みください。

問 1 1 次の表の該当するところにあなたの子どもの人数をお書きください。

子どもの年齢	人 数	子どもの年齢	人 数
a 0～3歳未満	人	d 中学生	人
b 3歳～就学前	人	e 15～18歳未満(高校生等)	人
c 小学生	人	f 18歳以上(大学生等)	人

女性の方にお尋ねします。

問 1 2 仕事はどうかしていますか。(○は1つだけ)

1 結婚前から今まで就業していない	}	6 結婚前から現在まで就業を続けている
2 就業していたが、結婚を機に退職した		7 その他
3 就業していたが、1人目の妊娠・出産を機に退職した		(具体的に)
4 1人目のときは就業継続したが、2人目以降の妊娠・出産を機に退職した		
5 一度退職したが、現在は再就職している		

問 1 2 で 2、3、4、5 とお答えの方にお尋ねします。

問 1 2 - 1 なぜ、退職されましたか。(○は1つだけ)

1 前から仕事をやめたいと考えていた	5 子どもが小さいときは家にいたかった
2 職場に結婚・出産退職の慣行があった	6 保育所を利用できなかった
3 仕事との両立が大変だから	7 育児休業制度を利用できなかった
4 家事に専念したかった	8 その他
	(具体的に)

子どもがいらっしゃる、全ての方にお尋ねします。

問 1 3 あなたは、これまで育児休業制度を利用しましたか。(配偶者ではなく、自身自身のこととしてお答えください。)(○は1つだけ)

1 望むときに利用できた	}	5 制度があるのを知らず利用しなかった
2 利用できたときと、できなかったときがあった		6 自分も利用できることを知らずに利用しなかった
3 利用したかったができなかった		7 当時は育児休業制度がなかった
4 利用する必要がないので利用しなかった		8 その他
		(具体的に)

問 1 3 で 1、2、3 とお答えの方にお尋ねします。

問 1 3 - 1 あなたが育児休業制度を利用(しよう)したとき、最も障害となったのは何ですか。(○は1つだけ)

1 制度を利用しづらい職場全体の雰囲気	5 休業後の職場復帰への不安
2 前例がないこと	6 休業中の経済面
3 同僚への遠慮	7 特に障害はなかった
4 上司への遠慮	8 その他
	(具体的に)

※育児休業制度とは(平成7年4月1日から全事業所に適用されています。)

育児休業をすることができるのは、原則として1歳未満の子を養育する男女労働者です。休業期間は、子が出生した日から子が1歳に達する日までの間で、労働者が申し出た連続した期間です。

問 1 4 次の子育て支援制度を知っていますか。また、利用したことはありますか。
 (1～3の当てはまる番号に○を付けてください。)

次に、今後利用したい支援制度についてお尋ねします。これまでの利用の有無にかかわらず、全ての方がお答えください。

(以下の各項目について、当てはまる項目の欄全てに○を記入してください。)

項 目	知っている		制度があ ることを 知らない	今後利用 したい制 度
	利用した ことがある (利用している)	利用した ことはない		
a 保育所 (通常保育)	1	2	3	
特別 保育				
b 延長保育	1	2	3	
c 一時預かり	1	2	3	
d 休日保育	1	2	3	
e 地域子育て支援拠点	1	2	3	
f 幼稚園	1	2	3	
g 幼稚園(一部)での預かり保育	1	2	3	
h 幼稚園(一部)での子育て相談	1	2	3	
i 市町の保健センターでの子育て相談、育児学級	1	2	3	
j ファミリーサポートセンター	1	2	3	
k 病児・病後児保育	1	2	3	
l 民間の託児サービス(認可外保育所含む)	1	2	3	
m 児童館・児童センター	1	2	3	
n 放課後児童クラブ(学童保育)	1	2	3	

問 1 5 あなたにとって、子育てをよかったですこと、楽しかったことは何ですか。

以下のa～hについてお答えください。

(それぞれについて○は1つずつ。)

	よく そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
a 家族との会話がはずむようになった	1	2	3	4
b 配偶者との信頼関係が深まった	1	2	3	4
c 子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった	1	2	3	4
d 子育ての経験が仕事や趣味の活動などに役立った	1	2	3	4
e 子育てによって自分も成長していると感じられる	1	2	3	4
f 子どもが成長していくことが楽しみである	1	2	3	4
g 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
h 子どもがかわいくてたまらない	1	2	3	4

問 1 6 子育て費用の中で特に負担とを感じるのは次のうちどれですか。(○は2つまで)

1 妊娠・出産時の費用	6 塾や習い事にかかる費用
2 就学前の保育にかかる費用	7 医療にかかる費用
3 小学校・中学校の教育費	8 食費・被服費等の日常生活にかかる費用
4 高校の教育費	9 住宅にかかる費用
5 大学などの高等教育費	10 その他 (具体的に)

問 1 7 地域の子育ての相談窓口として次のものを知っていますか。また、利用したことはありますか。(1~3の当てはまる番号に○を付けてください。)
次に、今後利用したい相談窓口についてお尋ねします。これまでの利用の有無にかかわらず、全ての方がお答えください。
(以下の各項目について、当てはまる項目の欄すべてに○を記入してください。)

項 目	知っている		窓 口 が あ る こと を 知 ら な い	今 後 利 用 し た い 窓 口
	利 用 し た こ と が あ る (利 用 し て い る)	利 用 し た こ と は な い		
a 地域の子育て支援拠点	1	2	3	
b 保育所・幼稚園・学校	1	2	3	
c 児童相談所	1	2	3	
d 市町保健センター	1	2	3	
e 家庭児童相談室(福祉事務所)	1	2	3	
f 教育委員会 (県・市町・やまぐち総合教育支援センター)	1	2	3	
g 県健康福祉センター	1	2	3	
h 児童家庭支援センター	1	2	3	
i 病院・診療所など	1	2	3	
j 民生委員・児童委員	1	2	3	
k 主任児童委員	1	2	3	
l 母子保健推進員	1	2	3	
m 公的機関の電話相談	1	2	3	

問 1 8 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安をどうやって解決していますか。
なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。
(当てはまるもの全てに○)

1 配偶者に相談する	6 インターネットの口コミサイトなどに書き込みをする
2 両親や兄弟姉妹などの親族に相談する	7 本や雑誌を参考にする
3 友人や知人に相談する	8 その他
4 公共や民間の相談所を利用する	(具体的に)
5 インターネットで悩み・疑問の解決法を検索する	9 相談相手はいない

問 1 9 子育て中の親たちが、子どもを連れて集まり、学習や情報交換をしたり、クリスマス会などを共同で行ったりする子育てサークルが各地で生まれていますが、このようなサークルにあなたは参加したことがありますか。(○は1つだけ)

1 参加している
2 以前は参加していたが、今は参加していない
3 参加したことがない

問 1 9 で 2、3 とお答えの方にお尋ねします。

問 1 9 - 1 あなたは身近に子育てサークルがあれば参加したいですか。(○は1つだけ)

1 是非とも参加したい	5 参加したくない
2 自分の負担にならない範囲で参加したい	6 保育所、幼稚園に入園したので参加する必要がない
3 忙しいので参加できない	7 その他
4 肉親など他に相談できる人がいるので参加する必要がない	(具体的に)

P 1 1 の問 2 3 へお進みください。

V 結婚していない方にお尋ねします。

問 2 0 あなたは結婚に対してどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- 1 いずれ結婚したい
2 一生結婚しない

問 2 0 で 1 にお答えの方にお尋ねします。

問 2 0 - 1 あなたは何歳ぐらいの時に結婚したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1 20～21歳 | 5 28～29歳 | 9 36～37歳 |
| 2 22～23歳 | 6 30～31歳 | 1 0 38～39歳 |
| 3 24～25歳 | 7 32～33歳 | 1 1 40歳以上 |
| 4 26～27歳 | 8 34～35歳 | 1 2 特に決めていない |

問 2 0 - 2 結婚相手と出会うためにどのようなきっかけ(あるいは場)があるとよいと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 仲間同士のパーティー | 5 行政や民間企業等の主催によるパーティー |
| 2 友人や職場の同僚の紹介 | 6 結婚相談所の利用 |
| 3 親戚等の紹介による見合い | 7 特にない |
| 4 職場の上司等の紹介による見合い | 8 その他
(具体的に) |

問 2 1 あなたは将来、子どもは何人くらい欲しいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------|
| 1 子どもはいらない | 4 3人 |
| 2 1人 | 5 4人 |
| 3 2人 | 6 5人以上 |

問 2 2 あなたが結婚していない(しない)理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 結婚するにはまだ若すぎる | 9 結婚資金(挙式、新生活の費用等)が足りない |
| 2 結婚する必要性をまだ感じない | 1 0 結婚生活を送るだけの経済力がない |
| 3 今は、仕事を(または学業を)やめたくない | 1 1 家事、育児が負担に思える |
| 4 今は、趣味や娯楽を楽しみたい | 1 2 親や周囲が結婚に同意しない(だろう) |
| 5 独身の自由さや気楽さを失いたくない | 1 3 相手と長く生活していく自信がない |
| 6 今の経済力(収入)を失いたくない | 1 4 面倒くさい |
| 7 異性とうまく付き合えない | 1 5 その他
(具体的に) |
| 8 異性と知り合うきっかけがない | |

Ⅵ 少子化等について、全ての方にお尋ねします。

問 2 3 山口県でも、全国と同様に少子化が進んでいることについて、どのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- 1 非常に問題だと思う
- 2 多少問題だと思う
- 3 あまり問題だと思わない
- 4 全く問題だと思わない
- 5 わからない

問 2 4 行政が子育て支援・少子化対策に取り組むことについて、どのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- 1 最優先して積極的に取り組むべきである
- 2 結婚・出産など、個人の価値観にもある程度踏み込んだ対策も取るべきである
- 3 個人の望む結婚や出産を阻んでいる要因を取り除く限りにおいて対応を図るべきである
- 4 子育て支援に限り取り組むべきである
- 5 どのような方法・方策であっても取り組むべきではない
- 6 有効な対策はなく、何をやっても無駄である
- 7 わからない
- 8 その他(具体的に)

問 2 5 子育て支援・少子化対策を進める上で、今後、行政に充実してほしい施策はどのようなものですか。(○は3つまで)

- 1 妊産婦への支援や不妊治療への支援を充実する
- 2 小児医療体制の充実や子どもの健康を支援する
- 3 乳幼児医療費や保育料の負担軽減など経済的支援を充実する
- 4 保育サービスを充実する
- 5 待機児童が出ないように保育施設(保育所・児童クラブ等)の整備を進める
- 6 学校や家庭における教育を充実する
- 7 奨学金制度の充実など教育費に対する支援を充実する
- 8 若者の就労への支援を充実する
- 9 子育てと仕事が両立できる職場づくりを進める
- 1 0 子育てがしやすい住宅・居住環境を確保する
- 1 1 子どもが健全に育つ安心・安全の地域づくりを進める
- 1 2 子どもと地域の高齢者などとの世代間交流を進める
- 1 3 子育てに関する相談体制を充実する
- 1 4 子育てを地域全体で支援するイベントなどの取組を進める
- 1 5 安心して子どもを産み育てることができる社会づくりのための普及啓発を進める
- 1 6 その他(具体的に)

問 2 6 子どもたちが生命の大切さを理解し、健やかに、たくましく育つためにどのようなことが必要だと思われますか。(○は3つまで)

- 1 小・中学生、高校生と乳幼児のふれあい体験
- 2 子どもたちと親、高齢者との世代間交流ができる機会の提供
- 3 子どもたちへの自然体験・社会体験学習の機会の提供
- 4 子どもたちがボランティア活動等の社会参加ができる機会の提供
- 5 子どもの頃から、生命の大切さや子育ての楽しさ、家族の役割の大切さなどについての理解を深める教育
- 6 学校教育に地域住民が参加しやすい環境の整備
- 7 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進
- 8 子育てを家庭だけでなく、近隣など身近な地域社会で考えていく助け合いのネットワークの形成
- 9 その他(具体的に)

問 2 7 子どもや子育て家庭を支えている地域社会だと感じられるのは、どのようなことですか。(○は3つまで)

- 1 子どもの誕生を地域(自治会や子ども会など)で祝う
- 2 妊産婦や子ども連れに席(バスや会場の席)を譲るなどのやさしい配慮をする
- 3 子どもや子育て家庭への自然な声かけをする
- 4 病院や美容院などへ行くとき、近所同士で子どもを預かり合う
- 5 子どもの通園・通学時に近所や地域で見守る
- 6 子どもが社会の一員として年下の子どもの面倒をみる
- 7 身近な子育てサークルなどが子育て等の相談に応える
- 8 地元企業が子育てに積極的に協力・支援する
- 9 その他(具体的に)

問 2 8 男女が共に子育てに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思われますか。(○は3つまで)

- 1 男女の役割分担についての固定観念や社会慣習を見直すこと
- 2 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 3 労働時間短縮や育児休業制度を普及・促進させること
- 4 夫婦の間に十分に話し合い、家事などの分担をすること
- 5 家事などを男女で協力し合うようなしつけや育て方をすること
- 6 男性の仕事中心の生き方・働き方を見直すこと
- 7 その他(具体的に)

問 2 9 出産や育児と職業生活を両立しやすくするために、どのようなことが必要と思われますか。(○は3つまで)

- 1 産前・産後休業の充実
- 2 育児休業制度の普及や充実
- 3 短時間勤務、フレックスタイム、所定労働時間を超えて労働させないなどの勤務時間に関する制度の充実
- 4 出産・育児後の職場復帰や再就職を容易にするための支援の充実
- 5 保育サービスや相談窓口の充実
- 6 育児にかかる経済的負担の軽減
- 7 企業内託児施設など企業による育児に関するサービスの充実
- 8 配偶者や祖父母など家族の理解
- 9 その他(具体的に)

Ⅶ 「子育て文化創造条例」について、全ての方にお尋ねします。

県では、少子化に歯止めをかけ、誰もが安心して子どもを生み、育てることができる県づくりに向けて、平成19年10月に今後の子育て支援や少子化対策の基本となる「子育て文化創造条例」を制定しました。

この「子育て文化創造条例」に関する以下の項目について、お答えください。

問30 あなたは「子育て文化創造条例」について、ご存じですか。(○は1つだけ)

- 1 内容についても知っている
- 2 聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 3 知らない

問31 「子育て文化創造条例」では、各家庭において、毎月第3日曜日を標準として、家族にとって意義のある日を「家庭の日」と定め、家族の絆を深めるよう規定していますが、この「家庭の日」について、ご存じですか。(○は1つだけ)

- 1 知っており、取り組んでいる
- 2 聞いたことがあるが、特に取り組んではない
- 3 知らない

問32 各家庭において、「家庭の日」を普及させるためには、どのような取組が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 講演会やシンポジウム等の開催を通じた啓発
- 2 学校等を通じた啓発
- 3 親子でふれあうことができるイベントなどの開催
- 4 「ノー残業デー」を設けるなどの企業・団体等の協力
- 5 チラシ・インターネット等での情報提供
- 6 その他(具体的に)

Ⅷ 山口県の少子化対策等について、全ての方にお尋ねします。

県では、「子育て文化創造条例」（平成19年10月制定）に基づき、以下の7つの基本的施策に沿って対策を進めています。

この7つの施策の柱の趣旨をお読みになって、施策の「重要度」「満足度」についてお答えください。

問33 「子育て文化の創造に向けた気運の醸成」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。（項目ごとに○を1つだけ）

重要度	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

《基本的施策の1 子育て文化の創造に向けた気運の醸成》

子育て支援・少子化対策の推進に当たっては、社会全体で結婚、出産及び子育てを支えていくことが重要です。

このため、県民、事業者及び団体等との連携・協働による普及啓発や子育て支援活動などを進めます。

【実施している対策の例】

- ・やまぐち子育て県民運動の展開(地域のネットワークづくり、子育て・結婚の応援など)
- ・子育て支援イベントの開催
- ・子育て家庭応援優待事業(子育て家庭が店舗等で料金割引などのサービスを受けることができる制度)の推進 など

問34 「保健医療サービスの充実と健康の増進」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。（項目ごとに○を1つだけ）

重要度	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

《基本的施策の2 保健医療サービスの充実と健康の増進》

子どもが心身ともに健やかに育つためには、母子保健や医療面などでの取組が重要です。

このため、子どもの心身の成長過程に応じた保健医療サービスの充実や、家庭における健康づくりなどを進めます。

【実施している対策の例】

- ・小児救急や周産期医療体制の充実
- ・不妊治療への支援の充実
- ・親と子の健康づくりの推進
- ・心身障害のある乳幼児の早期発見、早期療育の推進 など

問35 「子育て家庭への支援の充実」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。(項目ごとに○を1つだけ)

重要度	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

《基本的施策の3 子育て家庭への支援の充実》

子どもを安心して生み、育てることができる家庭づくりに向けては、子育てに関する負担の軽減を図ることが重要です。

このため、子育てに関する情報提供・相談や経済的支援などを進めます。

【実施している対策の例】

- ・地域子育て支援拠点の整備
- ・電話相談窓口の充実
- ・乳幼児医療費助成
- ・多子世帯保育料の軽減 など

問36 「子どもの学習環境の整備充実」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。(項目ごとに○を1つだけ)

重要度	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

《基本的施策の4 子どもの学習環境の整備充実》

子どもに「確かな学力」を身につけさせるとともに、豊かな心と健やかな体をはぐくむためには、教育環境の整備や多様な体験活動の充実を図ることが重要です。

このため、家庭教育・学校教育の充実、家庭・学校・地域が連携した取組などを進めます。

【実施している対策の例】

- ・学校教育の充実（授業改善、少人数教育、特別支援教育等）
- ・家庭・地域の教育の充実（環境学習、自然体験等） など

問 3 7 「職業生活と家庭生活との両立支援」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。（項目ごとに○を1つだけ）

重要度	特に重要	重 要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

《基本的施策の5 職業生活と家庭生活との両立支援》

就業形態が多様化する中、男女が働きながら安心して子どもを生子、育てられる環境づくりが重要です。

このため、子育てを支える職場環境づくりや、多様なニーズに対応した保育サービスの提供などを進めます。

【実施している対策の例】

- ・ 育児休業制度の普及啓発
- ・ 保育サービスの充実（延長保育、一時預かり等）
- ・ ファミリー・サポート・センターの普及促進
- ・ 放課後児童クラブの充実 など

問 3 8 「地域における子育て支援の充実」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。（項目ごとに○を1つだけ）

重要度	特に重要	重 要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

《基本的施策の6 地域における子育て支援の充実》

子育てへの不安や孤立化を感じている保護者の増加が指摘されている中、地域で子育て家庭を支援する取組が重要です。

このため、地域において子育てを支え合う体制づくりや、子育てしやすい生活環境の整備などを進めます。

【実施している対策の例】

- ・ 幼稚園の受入れ体制の整備（2歳児の受入れ等）
- ・ 子育ての仲間づくりへの支援（地域子育て支援拠点等）
- ・ 子どもの居場所づくりの充実（放課後子ども教室等） など

問 39 「子どもの安全確保と健全育成」に関する、施策の「重要度」「満足度」について、お答えください。(項目ごとに○を1つだけ)

重要度	特に重要	重 要	あまり重要でない	重要でない
満足度	よくやっている	まあよくやっている	やや努力が足りない	努力が足りない

— 《基本的施策の7 子ども安全確保と健全育成》 —

児童虐待や子どもをめぐる事件等が後を絶たない中、行政や地域が子どもの安全を確保し、健全育成に向けて取り組むことが重要です。

このため、虐待を受けた子ども等に対する支援の強化や、地域における子どもの健全育成活動などを進めます。

【実施している対策の例】

- ・児童虐待防止対策の充実
- ・子どもの心のケアの充実 (児童養護施設等の体制整備、社会的自立支援等)
- ・安心・安全の環境づくり (犯罪被害防止、有害凶書の実態調査等) など

以上で終わりです。御協力ありがとうございました。

子育て支援・少子化対策に関する意見

子育て支援・少子化対策について、県・市町・国・民間企業等に望む取組や御意見等があれば、何でも構いませんので、是非御記入ください。

- 【例】
- ・地域において子育てを支え合う取組について
 - ・仕事との両立に向けた企業の取組促進について
 - ・毎月第3日曜日を標準とした「家庭の日」の取組について など…



子育て文化創造シンボルマーク

～御協力ありがとうございました～